



広島大学



## 神経筋電気刺激の刺激筋量に依存して 脳由来神経栄養因子の濃度が増加することを発見！



々

神経筋電気刺激の刺激筋肉量に依存して、血中脳由来神経栄養因子が増加することを明らかにしました。

『

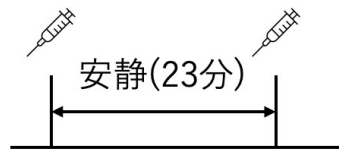
【

これらの知見は将来、認知症患者への新たな介入方法やアンチエイジングなどに活用されることが期待されます。

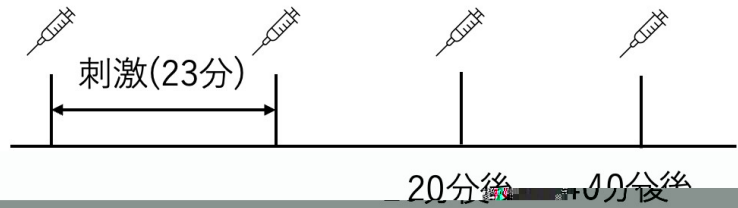
『 』

【

・コントロール

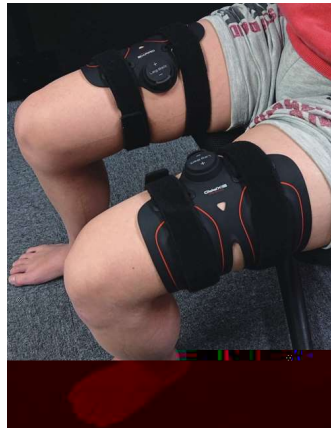


・大腿四頭筋



・大腿四頭筋+下腿三頭筋

A



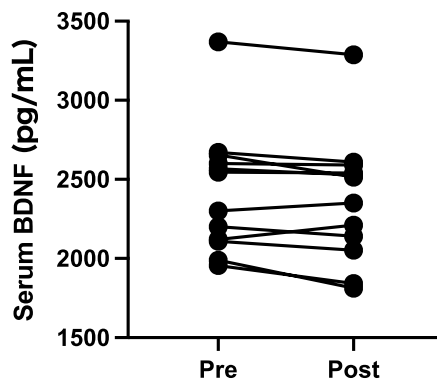
Quadriceps muscle

B



Entire lower limb

A



B

